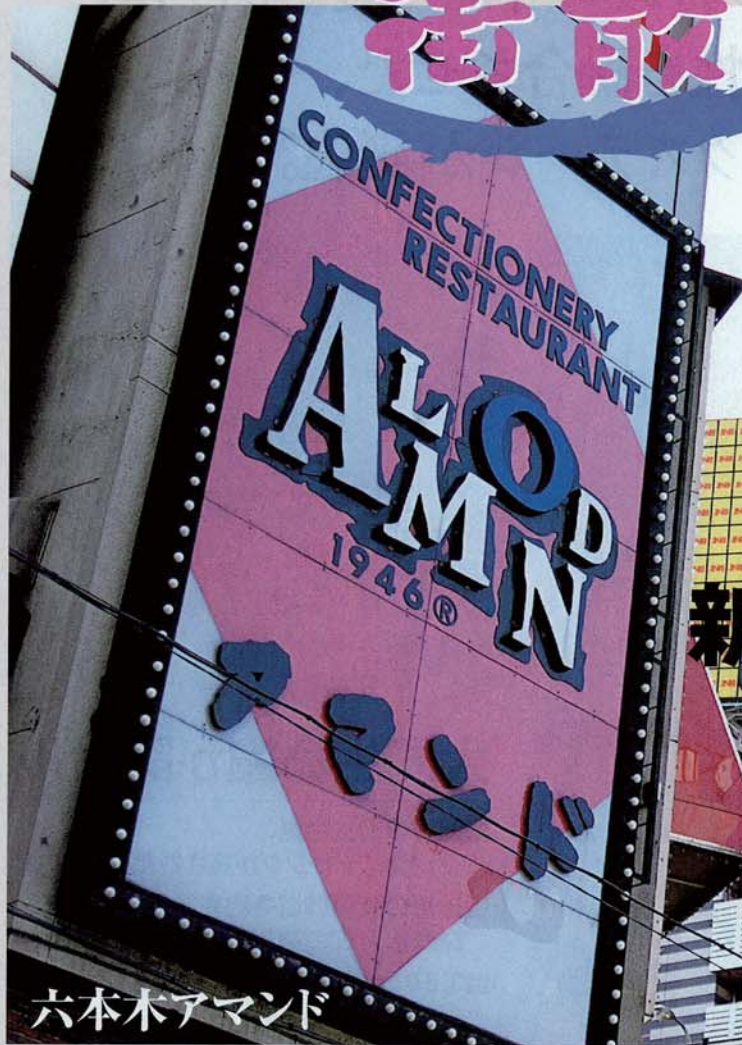


ま さん ほ
街散歩



六本木アマンド

▲ピンク色の目立つ看板と、六本木交差点の真ん前という場所柄、待ち合わせ場所として有名な「アマンド」。あまりにも有名なので、アマンドは六本木にしかないと思っていたのは私だけだろうか…。

六本木

**新旧が混在する街
 六本木**

夜の街、異文化の街としてのイメージが強い六本木。しかし、一本通りを外れると、江戸時代からの名残で、閑静な住宅街や商店街が残る情緒あふれる街でもある。そんな六本木が、再開発により、今大きく変わろうとしている。果たして、どんな変化を遂げるのか——六本木の^{いま}現在を見ておきたい、ふり街に出た。

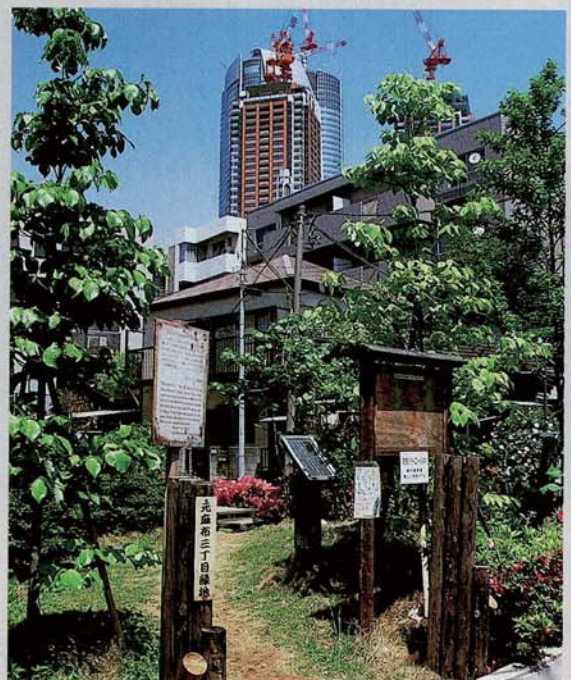


麻布十番温泉

▲麻布十番商店街の一角にある天然温泉。ビルの3Fが温泉、1Fには同じ温泉源の銭湯「越の湯」がある。地下500mからわき出る褐色の温泉(重曹泉)で、ヒステリーや火傷等に効く。入浴後、200人収容の量の大広間で昼寝をするのも悪くない。

元麻布三丁目緑地

▶港区が自然回復事業(ビオトープ)の一環として整備した「生き物の生活空間」。近所の小学校と一緒に取り組み、昨年3月に開園。湧き水を利用した宮村池には、カエルの卵やメダカなどが放されている。



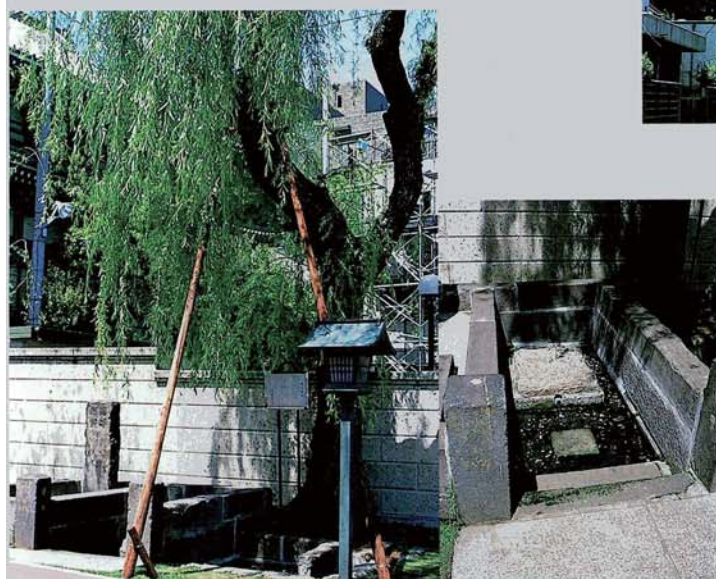


光善寺の龍



元麻布の新名所!?

◀手前は、国の天然記念物「逆さイチョウ」や福沢諭吉の墓がある善福寺の勅使門、奥に見えるのは元麻布ヒルズのフォレストタワー(今年6月竣工)。樹木を模したシンボリックなタワーが、ひときわ目を引く。

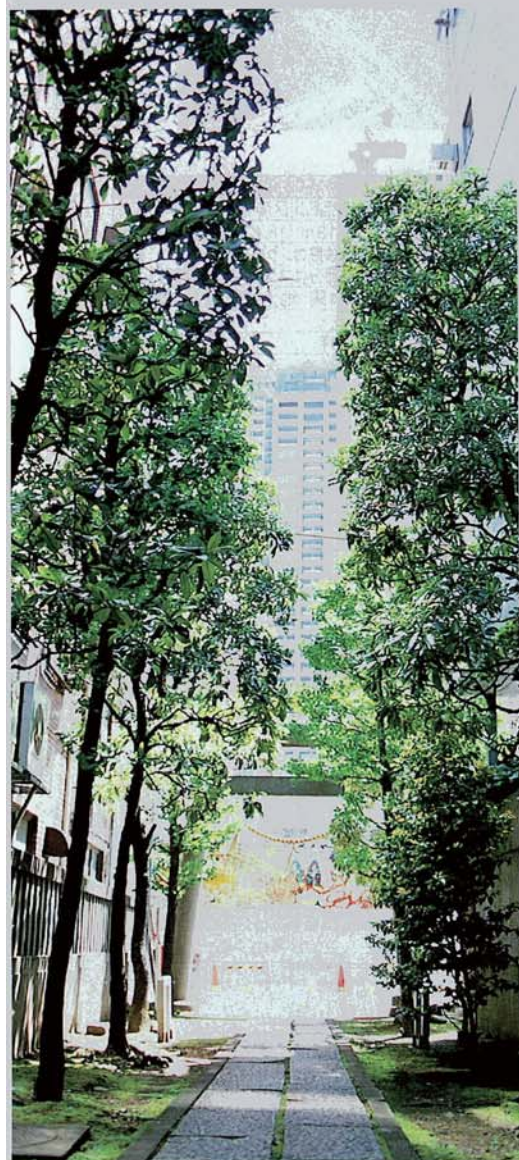


柳の井戸

◀平安時代に、弘法大師空海が開山したと伝えられる麻布山・善福寺。その参道の途中にある柳の井戸からは、地下水がわき出ている。江戸時代には、「名水の大関」といわれたほどの清水で、関東大震災や空襲による大火災の際に役立ったという。

人(man)

▶スウェーデン大使館横のオープンスペースにあるブロンズ像。スウェーデンのトミー・オストマーの作品。見る角度によって顔の表情が変わる、なんとも愛らしい彫刻である。



日比谷線の神谷町駅を出て、神谷町緑道へ。整備された道の両側には、様々な種類の樹木が植えられ、六本木方面への登り坂であるにもかかわらず、あまり疲れを感じさせない。道の途中に、ピンクを基調とした洒落た建物がある。スウェーデン大使館だ。近くには、1927年に建てられたスペイン大使館がある。

建築中のグリーンの超高層ビル「六本木一丁目プロジェクト」を横に見ながら、行合坂を通り、飯倉片町の交差点へ。待ち合わせの定番、アマンド前までは5分ほどだ。

六本木通りを渋谷方向に歩くと、前方に超高層ビル群が見えてくる。六本木六丁目の再開発「六本木ヒルズ」だ。来春には、54階建てのオフィスタワーやテレビ朝日の本社、840戸にも及ぶ住宅などが竣工するという。テレ朝通りを少し行くと、右手に桜田神社の小さな鳥居が見える。ビルの谷間の参道には、わずかなすきまから初夏の明るい光が差し込み、心地よい風が吹いていた。

テレ朝通りから緩やかな狐坂を下る途中、小さな池と野草が生い茂る空間を見つけた。周囲に次々とマンションが建つなか、わずかな自然でも再生させようとする、行政や小学校の取り組みがなんだか嬉しく感じられた。

打って変わって、急勾配の狸坂を上ると、麻布七不思議のひとつ「一本松」があり、四方がそれぞれ坂道になっている。美しい赤レンガ造りのオーストリア大使館を通る暗闇坂を下り、麻布十番商店街へ。最初に目に飛び込んできたのは、麻布十番温泉の看板だ。少し古びたビルの中に天然温泉と聞けば、少なからず興味をそそられる。通りの向こうに見える超高層ビルとのコントラストが、またなんともいえない。狭い路地には車が走り、いろんな人種の人々が通りを歩く。オープンカフェやブティックがあるかと思えば、江戸時代から続きたいやき屋や蕎麦屋があったりする。そのミスマッチな感覚がなかなか心地いい。

そこから、平安時代、西の高野山に対し、東の麻布山として開山されたという善福寺へ。樹齢750年の逆さイチョウや、清水がわき出る柳の井戸もある。しかし、なんといっても印象深いのは、勅使門の向こうにそびえる超高層マンションだ。六本木界限では、今大規模な再開発が複数進行している。当然、街全体の景観も変わっていく。新旧の良いところをうまく取り入れて、いつまでも味わいのある街であってほしいと願いながら、六本木を後にした。

参考文献:「江戸・東京 歴史の散歩道3」(街とくらし社)

桜田神社参道

◀東京最古の集落のひとつ、「桜田」の鎮守・桜田神社。1181年に霞が関に創建され、1624年頃現地に移転。最初は「霞山稲荷」といわれ、付近の霞町の町名にもなった。港区七福神の「寿老人」が安置されている。

